

神代之風



発行：玉置神社
発行人：弓場 季彦
TEL. 0746-64-0500
FAX 0746-64-0429

12月31日
1月 1日

年越大祓・除夜祭
歳旦祭

大日堂社大祭

8月8日玉置の山はまた大賑わい。

玉置神社は、神代七代の初めの神国立常大神を始めとして皇祖、天照大神、国土造成の神、伊邪那岐、伊邪那美の両大神、第一代の天皇、神武天皇等をお祀りする神社であります。

この神社には古昔、大日堂があり跡地のみ残っていたところ、昭和の年代に大日堂として再建されました。(大日堂再建趣意書)

8月8日に大日堂社大祭が斎行され、大日会関係者による護摩作法は圧巻でした。

皆様さんには体力、気力、知力が全身からほとぼしっているように感じました。120名の参観者も作法に没入されていたのではないでしょうか。

玉置山山上でのダイナミックな絵巻物。一味(あじ)違う風情、いかにせん。



大日堂社大祭



大日堂社大祭

祝詞奏上



宮司玉串奉奠



エイエイッーと山本導師



護摩木投入

お幸せに！
に交流され
とにぎやか
やスタッフ
た。崇敬者
加されまし
霊祭にも参
置教会の祖
出雲大社玉

は、翌日の
一、同懸命にご奉仕させていただきました。お二人
関東方面から、玉置神社を選んで頂き、スタッフ
緊張気味でしたが、二人とも輝いておられました。
置神社の大前で執り行われました。新郎新婦は、
門田家・土江田家の結婚式が九月二十二日、玉

門田家・土江田家 結婚式



映画「熊野から」
主演 海部剛史さん参拝
2014年 福岡アジア映画祭
招待作品田中千世子監督「熊野から」の主演俳優 海部剛史さんが参拝。襖絵も鑑賞される。折り目正しい好青年。関西では公開されており、この映画を見て、玉置神社に訪ねてみたいになりましたといつて参拝に来られる人もいます。
「熊野は遠い、遠いからいい」
「熊野はいくところじゃない」
呼ばれるところなんだ。熊野は今年、世界遺産登録十周年を迎えております。
映画も現地もご覧になりませんか。

玉置神社世界遺産登録10周年記念事業 一日巫女体験

六月に男性限定の一日神子さん体験を実施したところ、女性の巫女さん体験の企画も是非にと、多くの方々から要請があり、今回一日巫女体験を実施しました。定員十名は、瞬時といつてよいくらいの早さで一杯となりました。当日は、全員袴姿に整え、本殿の月次祭にも参加、一段と華やかさを添えてくれました。青山参与と参与婦人(檀原神宮の元巫女さん)で練り上げたカリキュラムは、極めて濃密。皆さん、とても充実した時間を過ごされたようでした。
関東方面からの参加された方の中には二日間も十津川で宿泊された方もおられました。なお、このような体験事業の終了時には、祭典等にボランティアとして参加希望されるか、お伺いしてきており、必ずご希望者はございましたが、今回は、参加者全員から、ご希望を頂きました。ありがとうございます。皆様よろしくね。



奥野誠亮 公益財団法人アジア

福祉教育財団名誉会長へご挨拶

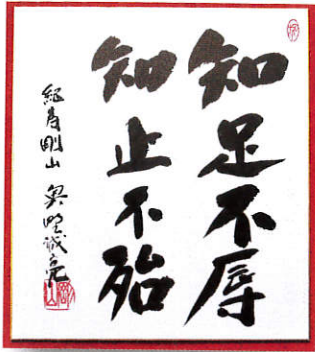
自治省事務次官、衆議院議員連続13回当選。文部大臣、法務大臣、国務大臣国土庁長官、勳一等旭日大綬章受章、御所市名誉市民、現在は、設立当初から深くかかわってこられた公益財団法人アジア福祉教育財団の名誉会長。



直筆の作品をいただきました。

「知足不辱」「知止不殆」とありました。「足(た)るを(知)しれば辱(はず)かしめられず、止(とど)まるを(知)しれば殆(あやう)うか(らず)」との意。

強烈無比そして私の財産となる言葉でした。先生、永遠(とわ)にお健やかに過ごしてください！



無類の愛郷家。御歳(おんとし)百一歳。財団へは連日のようにご奉仕されておられる。9月9日ご挨拶に伺う機会をいただきました。かくしゃくとして周囲を圧するオーラに満ち溢れておられる。ユーモアを交えていろいろとお話くださいました。玉置神社にもご関心をお寄せいただき、おられ現況などおたずねあり。夢のようなひととき。

奈良県東京事務所

・奈良まほろば館



奈良県東京事務所 「せんとくん」がお出迎え



大賑わいの奈良まほろば館

9月9日奈良県東京事務所へご挨拶に伺う。正面でせんとくんが誘ってくれている感じ。展示ケースを拝見。

魅力のコナー。このコナーの活用についてはおもてなしの心に満ち満ちた配慮あるご説明をいただきました。奈良県民です。

心やすまりますね。ありがとうございます。奈良まほろば館。館へ一歩踏み入れると木の香りと人の波にやささか衝撃。しゃれたディスプレイ・たくさんの人が出入りして活気あることおびたしい。嬉しかったですね。事務局でご挨拶。しっかりと無駄なくご説明等伺いました。

スタッフもよいですね。ご縁を続けていただきたいですね。ありがとうございます。

奈良テレビ放送東京支社

9月9日歌舞伎座と道を隔てて対面する位置にあります。かつてお世話になった古巣でもありなつかしさもひとしお。

営業等の活動で外へ出ていることが多いのですが、運よくスタッフは在席しておられご挨拶ができました。皆さんとても明るくしゃべりの歓談も楽し。誇りと情熱をもって力強い発信を歩みをつけていただけてますよう祈っております。ありがとうございます。

竹内まりやさん



9月9日東京都内。各訪問先に向う途中。とある箇所です。立止まって場所確認作業。ふと気が付けば某楽器店の店先。竹内まりやさんのキャンペーン中。

11月の「出雲大社正式参拝・神話の里への研修旅行」の出雲市での宿泊先は竹内まりやさんのご実家。偶然かはたまた出雲の神々のちよつとした遊び心のお招きか。不思議。

玉置神社練成研修会

奈良新聞が企画して玉置神社練成研修会が8月30から31日の2日間開催された。神社が本年度から玉置神社世界遺産登録10周年記念として取り組んでいる参籠、朝拜行事体験を中心に据えての試み。

初日は正しい参拜作法等の講話。夜の正式参拜2日は本殿にて早朝の朝拜行事、玉置神社巡拝、玉置山登拝と濃密なメニュー。参加者の皆さん鈍色の灯に照らされ、境内一円霧にかすむ中で参拝。そして宿坊での参籠。それぞれに心にひびくものがあつたようでした。宿坊のバイオトイレは清潔で使いよかつたとの感想。



暗闇の中参進



「食作法」食前感謝

皆さんすつかり打ちとけ別れを惜しみながらまた会うのをほかに期してお帰りになりました。いつまでも御縁が続きますように！案内役の奈良新聞のスタッフの方々も熱心に研修しておられましたね。皆々様ありがとうございます。



参拜作法の講話

玉置神社参拝と雅楽交流の旅

9月1日～2日

檀原神宮雅楽教室のメンバーとその関係の方々12名が正式参拝。龍笛の奉納演奏。そのあとは社務所において玉置神社神職・職員と時間のれる者交替で合同稽古。暫しの歓談。あつという間の1日、日帰りの方々を見送る。宿泊される方々たつぷりと温泉を楽しみ情緒を満喫されたご様子。2日目は玉置山登頂巡拝。一行も心地よさそう。休む間も殆んどなく合同稽古再開。非番の職員もかけつけて火花散るような稽古。このような機会に恵まれたことにも感謝ありがとうございました。



雅楽教室のメンバーの奉納演奏



休む間もなく合同稽古

「参籠・朝拜行事を体験して」

寄稿

山口県 福井文子

二千年以上の歴史を持つ玉置神社で、参籠・朝拜体験学習ができる滅多にない機会なので申し込み致しました。

参拜作法、玉置神社の歴史、齋食、あつという間に学びの時間は過ぎていきます。

齋食の作法では、「食は人を良くするものだ」という説明がありました。日常の中では時間に追われ、早く出来るもの・すぐ食べれるものを好んでいます。食べるもので体ができて、わかっているつもりで分かっておりませんでした。選択の基準を体に合わせ、良いものを食べようと再決意をしました。この場所だからこそ心に響いたのだと思います。

参加していた皆様も玉置神社が大好きな素敵なお方ばかりで、初めてお会いしましたが、とても親近感がありました。朝拜前に山頂で御来光を見ようと誘われ、朝4時に集まり、登りました。残念ながら雨が降り出し微かな御来光しか見えませんが、皆で見た景色は素晴らしい思い出です。朝拜では、青山先生、神職さんと共に神と向き合い自分自身とも向き合う貴重な体験を頂き、ありがとうございます。目の前の事に集中する為に息を整え、間をとる、日々の中では忘れがちです。一つ一つの物事に至誠をもって行うように教わりました。

宮司さんからお話の中で、「芸があつたら奉納して下さい。」と言われたときに披露できる芸がわたしにはなく、とても残念に思いました。人前に出るのも努力も苦手なのに、心底がっかりしている私自身にびっくりしてしまいました。神社は潜在意識が表れる不思議な場所です。遠いからと参加を断らずに良かったと思っております。出会いは一期一会、逃すと次のチャンスがいつ巡ってくるかわかりません。少しでも興味がある方は玉置神社のイベントに参加してみても如何でしょうか。実りのある時間になると思います。

体験の機会をありがとうございます。玉置神社のさらなる発展を心からお祈り申し上げます。

玉置山文化サロン

風屋盆踊復活

人口も激減し、9年間途絶えていた風屋地区の盆踊りが10年ぶりに復活した。5年前の事である。

故郷を終の住家にすべく帰郷した一人の人間が地域からも文化を強力に発信しようと蒼穹塾を立ち上げた。いろいろなやり方で文化等の発信を試みていたが盆踊りが途絶えていることに気がついた。せめて過去の踊りを記録にとどめておきた



いと蒼穹塾は取り組むも第1回目の稽古は雪のちらつく2月に2人のみでスタート。めげずに続けると毎回10人前後が集まってくるようになった。7月になるとせつかく稽古してきたのだから盆踊り復活しようという気運が高まりとりあえず初年度は蒼穹塾主催で開催することになった。何事も試みてみるものですね。初年度は80名の参加者。以後毎年100名以上の参加者でにぎわっている。現在は地区主催の盆踊りとなり地元とく志家による夜店もオープンされこれがまた人気を高めている。

復活が成功したのは何故か、主な理由

- 1 復活への強烈な思いのある人間がいてまた地区外にも協力がサポートしてくれたこと。
- 2 屈指の名音頭取りが熱い思いでリードくれたこと。
- 3 地区の皆さんもスタート直後からねばり強く稽古に参加してくださったこと。
- 4 地元とく志家がぜいたくな夜店を開いて、側面から盆踊りの魅力を一層高めてくださったこと。
- 5 盆踊りの日を昔から開催していた日を動かなかったために帰郷される人々が増えたこと。

神社日誌抄

毎月1日は出雲大社玉置教会15日は三柱社、24日は本社の月次祭、8日は大日堂社の開帳を執り行っています。

- 7月29日 大和電工境内避雷針工事のため来社
- 8月4日 参籠・朝拝行事体験に8名が参加
- 8月8日 大日堂社大祭が執り行われ、出雲大神宮岩田昌憲宮司ほか80名が参列
- 8月9日 台風11号接近のため宮司ほか職員6名が泊り込む
- 8月9日 参籠・朝拝行事体験に、台風の中、嶋田様、土井様2名が参加
- 8月17日 琴演奏者の福川みゆ香さん正式参拝
- 8月24日 南都銀行西大寺支店長・弓場氏他4名が宮司に挨拶のため来社
- 8月25日 和太鼓奏者、原田嘉子さん他11名が来社奉納演奏
- 8月30日 奈良新聞社主催「練成研修会」参籠、朝拝行事開催
- 9月1日 玉置神社参与の青山先生の雅楽教室が開催された
- 9月3日 宮司、「祈念式伝授」に出席のため出雲大社へ出張
- 9月5日 宮司、奈良県神社庁、榎原神宮、状況確認のため民主党支部訪問
- 9月6日 熊野荒坂神社(新宮市)岡根亀代子代表参拝
- 9月9日 宮司、アジア福祉教育財団、奈良県東京事務所、奈良まほろば館、奈良テレビ放送東京支社へご挨拶、PR活動、上地同行取材
- 9月10日 クラブツーリズム様一行44名参拝
- 9月14日 薬師寺修験祝師本部様10名正式参拝
- 9月16日 クラブツーリズム様一行24名参拝
- 9月16日 秋の交通安全週間、頒布用キャラクターお守りの御霊入れに十津川警察庁舎署長他7名が来社
- 9月18日 玉置神社氏子総代会開催、氏子総代10名全員が出席、3名の新任役員が決まりました
- 9月21日 映画「熊野から」の主演俳優の海部剛史さん参拝
- 9月22日 門田家、土江田家婚礼の儀齋行
- 9月23日 出雲大社玉置教会祖霊祭
- 9月24日 一日巫女体験に9名が参加、講師青山山参与、弓場宮司の講義を真剣に受けていた
- 9月25日 宮司、顧問弁護士事務所にて現況報告と打ち合わせ
- 9月26日 宮司、奈良県神社庁へ御礼と現況報告
- 9月27日 区長会副会長宅へ、宮司と事務長が新氏子総代責任役員決定の報告
- 9月28日 区長会会長宅へ、宮司と事務長が新氏子総代責任役員決定の報告

台風11号下の参籠・朝拝行事体験

7月12～13日予定の参籠・朝拝行事は台風8号襲来のため延期。

8月9日～10日仕切り直して試みることにした。なんとしたことか今度は台風11号。2度流すのはいかがと応募者の皆さんにどうしても参加したいという方々には、スタッフは開催の体制を整えておりますが充分状況を把握しながら自己責任で対処くださるよう連絡。遠方の方2名が既に十津川に入っているとのこと参加された。スタッフ9名全員懸命に対応。参加されたお2人しっかり勉強もしてこられた様子。

2日間風雨の最中で一部内容を変更しながらも行事の根幹は予定どおり体験していただけたかと勝手ながら思い込む。2日間の行事体験終了。雨の訪問者のお二人はスタッフに見送られ帰途につく。もう1日周辺で宿をとり別の神社を参拝されるとのこと。その日は風雨も彼方に去り、玉置の山々も黄金色のお日様が差し込んでいました。幸福(しあわせ)に！



和太鼓奉納演奏



8月25日、近畿地方大雨の警報。境内は視界不良の濃霧充満。朝6時過ぎ、頂上まで行ってきたよとおなじみの女性お二人が元氣よく授与所で職員と歓談中。早朝から参拝される方々が多いのです。雨は今にも降ってきそうであった。9時ごろから奇跡のようにお陽様が射しこんできた。11時頃には太鼓奏者原田嘉子さんグループ11名到着。大太鼓、長胴太鼓、桶胴太鼓、附締太鼓など本殿横の境内にセッティング。午後1時より本殿にて正式参拝。1時30分から奉納演奏、原田さんの太鼓が玉置山に轟き、笛の音(ね)が山々を切り裂いていく。約40分休みなしで太鼓演奏。その間微笑さえ浮かべながら神々と交流するが如く只管打ち鳴らす。壮絶！演奏後、汗も殆どなし。お伺いすると神々は確かに聴いてくださっていると感じました。ものすごい受信パワーのようなものが押し寄せてくるようで必死の思いで演じましたとニコリ。それは輝くばかり。

出雲大社教「祈念式伝授」宮司参列

布教師養成講習会終了者に「教師」として「祈念式伝授の証」と「祈念式伝授一式」と杉原守が与えられ「祈念式伝授」が9月3日出雲大社教神楽殿において営まれた。

殿内は薄暗くされ何とも名状しがたい雰囲気の中で座礼にて約2時間の次第であった。

紙面では紹介しきれないおごそかさ。異次元に身を置いて感じる。

このような経験できたことこれは現実か。さまざまが如くしてほぼ闇の中を約30分宿舎にたどりつきました。

成26年水害慰霊祭平成26年8月20日

紀伊半島森林植物公園(水害慰霊碑前)にて開催される。約150人の皆さんが参加され参加者全員が献花。玉置神社も代表が参加させていただくと共に、神社では祈禱室に職員一同集まり修祓・黙禱そして慰霊祭の経緯・趣旨等を再確認し合った。

